

男女共同参画社会実現のために NWECにお力添えください

- あらゆる分野の男女共同参画推進人材の育成・研修
- 専門的な調査研究・ジェンダー統計
- ジェンダーの専門図書館・データベース
- 女性の史・資料のアーカイブ
- 諸外国における女性のエンパワーメントへの貢献

ご寄附のお願い

1口1,000円から(※)

寄附控除の対象です

※1,000円以下でも有難く頂戴いたします。

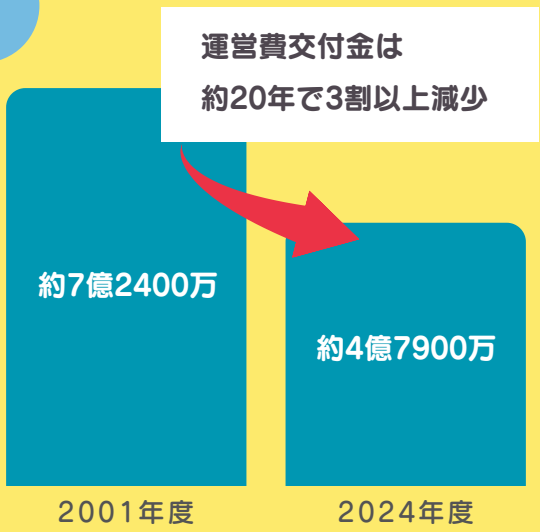
ヌエック NWECとは

国立女性教育会館（National Women's Education Center）は、男女共同参画を推進する我が国唯一のナショナルセンターです。「国連女性の10年」（1976～85年）の盛り上がりの中、全国の女性たちの声を受け、1977年に文部省（当時）附属の機関として設立されました。以来、全国の男女共同参画センター・女性団体・地方自治体・大学・学校・企業等と幅広く連携を図りつつ、研修、調査研究、史・資料の収集・整理・提供、情報発信、国際貢献を行っています。2022年、全国の男女共同参画センターを強力にバックアップするため、NWECの主管を内閣府へ移管し、地域における人材育成機能や拠点機能等を強化する方針が打ち出されました。

NWEC

独立行政法人の財政基盤

独立行政法人は、自己収入の確保に取り組みながら、公共性の高い事務・事業を効果的かつ効率的に行う法人として制度設計されています。現在、NWECの財源は大部分が国からの運営費交付金により賄われていますが、第5期中期目標期間（2021～25年度）では、2020年度と比して5％以上（毎年約1％）の経費の効率化を図ることになっています（効率化係数による運営費交付金の削減）。より一層の事業の充実に向け、寄附金等による自主財源を拡大し、自律的な業務運営を確保することが必要となっています。



いただいた寄附金の使途

研修

社会のあらゆる分野において男女共同参画や女性の活躍を推進する人材を育成するため、研修やセミナーを実施。令和6年度は、男女共同参画センターや自治体の職員をはじめ、女性相談員や学校の教職員、企業の管理職・人事担当者を対象にした研修を実施。

調査研究

男女共同参画社会形成への課題を解決するための調査研究を実施。令和6年度は、学校の女性管理職登用、女性のキャリア形成や意思決定過程への参画、困難を抱えた女性支援の在り方等についての調査研究や「男女共同参画統計リーフレット」の作成を実施。

広報・情報発信

ジェンダーの専門図書館である「女性教育情報センター」やジェンダー情報のポータルサイト「Winet」、各種データベースを整備し、男女共同参画に関わる様々な情報をわかりやすく提供。また、男女共同参画センターや大学等に所蔵図書をパッケージ化して貸出。ほか広報活動を実施。

女性アーカイブ

女性教育や男女共同参画施策等に関わった全国的な女性団体や女性の記録の収集・提供を行う「女性アーカイブセンター」を運営。主な所蔵資料として、日本国憲法の草案に携わったベアテ・シロタ・ゴードン氏の資料群など。史・資料のデジタル化にも取り組む。

国際貢献

諸外国におけるジェンダー平等・女性のエンパワーメントに貢献。令和6年度は、アジア・アフリカ地域等の関係者に対して人身取引・ジェンダーに基づく暴力に関する研修を国際協力機構と連携して実施したほか、地球規模の課題をテーマとする「グローバルセミナー」を実施。

その他全般

内閣府移管に伴う機能強化の準備、国内外の関係機関等との連携・ネットワークの強化、若者の理解促進、ICTの活用による教育・学習支援の推進等、その他NWECの業務運営全般。

お問合せ

独立行政法人
国立女性教育会館 財務・企画課

0493-62-6717
平日9:00～16:30
kaikei@ml.nwec.go.jp

NWEC 寄附